



今、秋が訪れ、君たちは大きくなった

神谷中学校は、小規模校の長所を活かした様々な取組を通じて、子どもたちに夢と希望を与える教育を推進していることを前回で紹介しました。

常に、主人公である子どもたちに寄り添い、ひたむきな努力や一生懸命さを評価し、時には叱咤激励し、保護者・地域・関係機関・教職員がめくもりのある子どもたちを育む教育を進めています。

今回は具体的な地域や関係機関との連携した教育活動の紹介をします。

森林体験イン嶺北（高知大学農学部との連携活動）

夏休みに2泊3日で高知大学農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター嶺北フィールドで森林体験を行いました。生徒と全教職員、保護者、高知大学生の総勢45名が寝食を共にして日食観察、間伐体験、火おこし体験、ドラム缶風呂体験、植栽体験、森の宝物さがし、そうめん流し体験など行いました。



◎**生徒の感想** 今回の合宿では、今までにやったことのないことを沢山体験することができました。最初は「きっとすごく大変だろうな。」と思い、不安でした。しかし、実際に3日間過ぎて、大変なこともあったのですが、それよりも楽しい気持ちが勝っていたように感じます。私はみんながいっしょにご飯を作ったり、作業をしたりする時間が一番楽しかったです。人と接することはつらくてしんどくなる時もあります。でも、こうして協力しあったり、他愛のない話で笑ったり、真剣になったりすることはやはり楽しいし、大事なことだと思います。みんなが隔てなく仲がよいのは、この学校の一番の長所が一番の自慢だと思いました。



愛媛大学教育学部4回生と生徒の交流イン神谷

7月下旬に愛媛大教育学部生5名と白松准教授が2泊3日の日程で来られ、PTAとともに家庭学習の推進や小中一貫教育についての学習会をしました。また、大学生による「私の学習方法公開」では、ノート作りや学習への心構えなどのアドバイスをいただきました。その後はバレーボールの交流で青春の汗を流すことができました。愛媛大学教育学部の方々、本当にありがとうございました。



愛校作業・親子球技大会・

親子能率のあがる食事づくり・焼肉大会

8月23日、毎年恒例の愛校作業では生徒・神谷地域の方・PTA特別会員・PTA会員が一堂に集まり、早朝から、草引き・草刈り・木々の手入れなどを行い、気持ちの良い汗をかくことができました。その後、親子球技大会でソフトボール・バレーボールを楽しんだり、ヘルスメイトさんの指導の下、保護者・生徒35名が参加し、学習の能率のあがる食事づくりを行いました。夕方からの焼肉大会では総勢40名近くが参加し、2学期に向けての英気を養うことができました。



今後、神谷中学校の特性を活かすとともに、平成23年度からは神谷小学校と連携し神谷小中学校（仮称）として子どもたちを育てる人間教育にあたります。

町内の地域の方々から『小中一貫教育をしている神谷小中学校に子どもを入れたい。』といわれる学校づくりをしていきたいと考えています。今後とも、ご指導並びにご支援をよろしくお願いいたします。